

## 医療法人一輝会 行動計画の中間報告について

目標1 年次有給休暇を10日以上付与されている職員は、年5日以上取得義務を履行する。  
～2019年4月施行「労働基準法第39条7項」に基づく

### <対策>

- 2019年4月～ 管理者が個人毎の取得状況をチェックして現状を把握する。
    - ※みさき病院 2018年度 5日未満の取得数 52名/181名中 28.7%
    - ※訪問看護ステーションみさき 2018年度 5日未満の取得数 8名/21名中 38.0%
    - ※整形外科病院 2018年度 5日未満の取得数 17名/60名中 28.3%
  - 2019年4月～ 付与後、6ヵ月を経過しても3日に満たない職員は上長が啓蒙していく。
  - 2019年4月～ 有休取得の阻害要因、個人別のバラツキ原因を探り対策をうつ
    1. みさき病院・訪問看護ステーションみさきは全職員の有給休暇の取得管理表で実態を把握した。
      - ※整形外科病院は有給休暇の管理表を平成30年度から実施開始※但し医師を除く
    2. みさき病院においては、衛生委員会において、5日未満の取得者を所属長から職員へ啓蒙した。
      - さらに所属長にも有給休暇を取らせる工夫を促した事で全体的に5日未満の取得率を下げる事ができた。
- |                |                 |           |       |              |
|----------------|-----------------|-----------|-------|--------------|
| ※みさき病院         | 2019年度 5日未満の取得数 | 39名/187名中 | 20.8% | (前年比 ▼7.9%)  |
| ※訪問看護ステーションみさき | 2019年度 5日未満の取得数 | 2名/18名中   | 11.1% | (前年比 ▼26.9%) |
| ※整形外科病院        | 2019年度 5日未満の取得数 | 9名/52名中   | 17.3% | (前年比 ▼10.0%) |

目標2 残業時間を削減していき、年平均の残業時間を全体で10%削減する。  
～働き方改革に基づくワークライフバランスの実施

### <対策>

- 2019年4月～ 2017年と2018年を比較して残業時間が31%増加した。  
2019年度は残業の原因となる分析を行い、各部署における問題点の検討し分担や機械化を図る。  
⇒毎月、各部の所属長へ職員ごとの残業時間をフィードバックして、実態の把握及び指導を行ったが目標の▼10%削減には届かず。【みさき病院のみ実施】  
2019年度 みさき病院 平均残業時間 10.7h(一人あたり) 前年比 ▼0.3h(▼2.6%)  
【みさき病院 主な残業時間の多い部署の内訳】※1人あたりの平均残業時間
  - ・事務部 30.7h ※前年比 ▼1.6h(▼8.2%)  
(各自が集計作業等の簡素化を図り、業務の効率化に取り組んだ影響によるもの)
  - ・リハビリテーション部 9.5h ※前年比 +1.8h(+8.5%)  
(クリニカルラダーに則り、毎月1～2回の研修会を実施した影響により増加)
  - ・看護部 4.9h ※前年比 ▼0.5h(▼8.4%)  
(看護職員を対象とした形態機能学の研修会を就業時間外で行っていたが廃止した)

### 【参考】

2017年度 ⇔ 2018年度 残業時間 31%増加

2018年度 ⇔ 2019年度 残業時間 2.6%減

※訪問看護ステーションみさき・整形外科病院は時間外の分析なし